

新訂 クイズで学ぶコンプライアンス 第2版 データ版2 内容補正について

2018年10月以降の法改正に伴い、以下のとおり内容補正のご案内をいたします。

文章内の下線部が変更箇所となります。(2019年4月1日現在)

Q.22 残業につぐ残業	
Point	過労自殺やうつ病に代表されるメンタルヘルス不全による疾患がクローズアップされています。その原因の一つとして、過酷な長時間労働があると指摘されています。 <u>労働基準法によって、時間外労働の上限は、原則として月45時間と定められており、長時間労働が継続しないように休日を適切に付与するなどして、労働時間を適正に管理するよう求めています。</u>
Q.23 長時間労働を抑制するために	
Point	労働基準法では、 <u>労働者が健康を保持しながら労働以外の時間を確保して働くことができるような労働環境の整備を目的に、1カ月60時間を超える法定時間外労働（残業）に対しては、割増賃金率を50%以上と定めています。</u> これは、割増賃金による使用者の経済的負担を重くすることによって、長時間労働を抑制することを目的とした措置です。 ※ただし、中小企業については、～ 以下は削除。
Q.79 著作権はいつまで？	
選択肢 B	死後 <u>70</u> 年間は著作権がある
Point	著作権は著作物を創作した時点で発生します。日本では著作権の保護期間は、原則として、創作した時点から著作者の死後 <u>70</u> 年までです。この期間は著作者が死亡した年の翌年1月1日から起算します。法人や団体名義の著作物の場合、および無名・変名である著作物の場合は、著作物が公表された日の翌年の1月1日から起算し、保護期間は、公表後 <u>70</u> 年間です。
Q.94 R o H S 指令とは？	
Point	この場合、「ろーず」とは「R o H S 指令」のことで、EUにおいて電子・電気製品に含まれる特定有害物質の使用を制限する法令のことです。R o H S 指令では、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル、カドミウム <u>など</u> の含有量について規制しています。原則として、EU諸国に電子・電気製品を輸出する際には、製品のすべての構成部材について、指定の数値以下にする必要があります。